

統一地方選 後半戦告示

首長選

世田谷、国立などが激戦



立候補の届け出を済ませた各候補は支持者らを前に第一声＝17日午前10時すぎ

議員
選挙

1421議席をめぐる戦い

号外

詳しくは19日付の都政新報で

都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区
西新宿7-23-1 TSビル

〈総務・読者〉 03-5330-8781

〈企画広告〉 03-5330-8784

〈編集〉 03-5330-8786

〈制作〉 03-5330-8786

〈出版〉 03-5330-8788

〈ファクス〉 03-5330-8808

購読料 月1,680円(税込)

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2011

24日投票の統一地方選後半戦が17日に告示された。都内では、22区市町村長選挙と47区市町村議員選挙が行われる。

首長選では、世田谷区、清瀬市、稲城市、大島町で現職が引退し、新人同士の争いとなる。予断を許さない激戦となっているのは、台東区、墨田区、世田谷区、国立市、東大和市の5首長選。

このうち台東区長選では、自民党総支部の予備選挙に敗れた現職が3選出馬し、同党推薦を受けた元参院議員との争いに発展した。これに民

主党推薦の新人も立候補し、間隙を縫って漁夫の利を狙う。現職・新人の5人が名乗りを上げた。

世田谷区長選では、築地市場の豊洲移転関連予算案に賛成した元民主党都議が自民党推薦を受け、初当選を目指す。石原知事とのツーショット写真を載せた「自由民主」が新聞

折り込みで配布され、知事自身も応援に入る予定。これに対し、現区長は、区議会議長を務めた前自民党区議の支援に回った。このほか、社民党の元衆院議員、前民主党区議、共産党推薦の新人が立候補している。

国立市長選では、2期目を目指す現職に、自民党や公明党などが推薦する元市部長が挑む。今回、共産党が独自候補を擁立し、民主党も推薦を見送っているため、現職にとって

は混沌としている。

一方、議員選挙では、21区議会では866議席、20市議会では489議席、6町村で66議席、合計1421議席を目指し、政党公認候補や無所属候補がしのぎを削る。4年前に比べて区議会では7、市町村で13の議員定数が削減されている。

統一地方選挙として執行される区市町村選挙は次の通り。

【区部】▽千代田区▽議員▽中央区▽議員▽港区▽議員▽新宿区▽議員▽文京区▽議員▽台東区▽議員▽墨田区▽議員▽江東区▽議員▽品川区▽議員▽目黒区▽議員▽大田区▽議員▽世田谷区▽議員▽渋谷区▽議員▽中野区▽議員▽杉並区▽議員▽豊島区▽議員▽北区▽議員▽荒川区▽議員▽板橋区▽議員▽練馬区▽議員▽江戸川区▽議員

【多摩】▽八王子市▽議員▽武蔵野市▽議員▽三鷹市▽議員▽青梅市▽議員▽府中市▽議員▽昭島市▽議員▽調布市▽議員▽小金井市▽議員▽小平市▽議員▽東村山市▽議員▽国分寺市▽議員▽国立市▽議員▽福生市▽議員▽狛江市▽議員▽東大和市▽議員▽清瀬市▽議員▽武蔵野市▽議員▽東久留米市▽議員▽武蔵村山市▽議員▽多摩市▽議員▽稲城市▽議員▽羽村市▽議員▽瑞穂町▽議員▽檜原市▽議員